

HB通信

編集・発行 /
一般社団法人
ひょうご部落解放・人権研究所



〒 650-0003 神戸市中央区山本通 4-22-25 兵庫人権会館 2 階
TEL : 078-252-8280 FAX : 078-252-8281
e-mail : blrhgy@extra.ocn.ne.jp URL : <http://blrhgy.org/>

つとむくんの



つぶやき

「新たな差別とは」

2016 年 12 月 9 日に「部落差別の解消の推進に関する法律」が参議院で可決され成立した（同月 16 日公布・施行）、それに先立つ 8 日、本法案に対して参議院法務委員会で「新たな差別を生むことが無いように留意しつつ……」とする附帯決議が可決された。

この附帯決議に今も納得できない自分がいる。この附帯決議について行政との話し合いの場でよく聞く。私たちが被差別部落の実態調査を市へ要望をしたとき、市からは次のような回答があった。「実態調査は、人や地域を特定したうえでの調査とならざるを得ないことから、新たな差別を生みかねず……」とし、実施は難しいとのことだった。この回答を聞く度「？」が私の頭をよぎる。人や個人を特定するとなぜ「新たな差別」が生まれるのか。新たな差別が生まれる原因は何か。また「新たな差別」とは一体何か。どのようなものなのか説明を求めても回答は返ってこない。同時に、「今まで実態調査を行った各自治体において「新たな差別」が生まれたのか。その報告を聞いているのか」と尋ねるとそのような「新たな差別」が起こったことの確認はできていないと言う。

今ネット上には、被差別部落に対する予断や偏見に基づく差別的な発信が多くある。そこに実態調査の結果が利用され、差別が広まることは避けなければならない。しかし、実態調査は個人情報に関わる問題であり、この管理がきちんとなされればいいだけのことではないのか。もし仮に、人や地域を特定したことにより、そのことを利用して差別をする人が出てきたとしよう。それは「新たな差別」ではなく「新たな差別事象」である。ただし、その人に部落に対する差別意識がなければ差別事象は起きないはずである。差別事象が起きたのは、その人が持っている差別意識が表に出てきただけである。だとすれば、見えなかった、見るができなかった差別意識が実態として現れ見えただけのことだ。見えれば、その意識の背景や課題が見つかり差別の解消に向け取り組みやすいのである。大切なことは、その差別事象をしっかりと中心に据え解決のために取り組むことであり、差別解消のチャンスをもたらしたと考えるのは、私だけなのだろうか。

見えないもの、あるのか無いのか分からないものを仮想して対応することは難しいことだ。その

対応が正しいのかも分からない。だから、実態調査をし、差別の実態の見える化を図ることは施策を行う上での第一歩である。その過程で問題（差別事象）が発生すればより一層課題が明らかになると考える。それにより差別の解決に向け、一歩前進すると私は確信している。逃げていては、見えるものも見えない。逃げずに、怖がらずしっかりと現実に向き合うことが今求められている。

（一社）ひょうご部落解放・人権研究所
事務局長 細田 勉

今号のもくじ

- ▶ 1 面 … つとむくんのつぶやき
- ▶ 2 面 … 第 3 回人権セミナーのご案内、
【ひょうご人権総合講座】今後のプログラム
- ▶ 3 面 … えほんの紹介
『ぎょうれつ んぎょうれつ』
- ▶ 4 面 … 第 45 回県研のご案内 /
事務局から plus

人権セミナー第 3 回フィールドワーク【事前申込制】

「新長田・在日コリアンの歴史を歩く」

申込はこちら→



神戸市長田区は日本有数の在日コリアンの多住地域です。朝鮮半島にルーツを持つ人々がここに暮らし始めて百年以上の時が流れるなかで、“くつのまち長田”の発展を支え、くらしを築き、子どもを育て、文化と言葉を伝えてきました。

今回のセミナーでは、長田区を歩いて在日コリアンの歴史と現在について学んだ後、2024 年 12 月に開設された『神戸在日コリアンくらしとことばのミュージアム』（愛称：ナドゥリミュージアム）を見学します。

■日時：2025 年 12 月 13 日（土）13：30～16：00 ■場所：JR 新長田駅周辺

■講師：金信鏞さん（神戸コリア教育文化センター） ■定員：30 人

■参加資料代：研究所オンラインショップからお支払いください。

<https://blrhg.thebase.in/categories/3494818>

①一般 2,000 円

②正会員・学生・障害者・特別会員（クーポン利用の方）1,000 円

■申込方法：右上の QR コードからお申し込みください。

<https://forms.gle/iA2uLXn9S3euRBg77>

■申込締切：2025 年 12 月 11 日（木）

【2025 年度ひょうご人権総合講座】今後のプログラム

■ 10 月 9 日 障害者②（自立生活）「誰ひとり取り残されないまちづくり」

講師：玉木幸則さん（一般社団法人兵庫県相談支援ネットワーク代表理事）

■ 10 月 9 日 障害者③（災害）「過去の災害に学ぶ障害者の防災」

講師：八幡隆司さん（NPO 法人ゆめ風基金理事・事務局長）

■ 10 月 16 日 在日外国人①（総論）

「日本のレイシズムと多文化共生を考える 在日コリアンの視点から」

講師：郭辰雄さん（特定非営利活動法人コリア NGO センター代表理事）

■ 10 月 16 日 在日外国人③（労働）「技能実習制度から育成就労制度へ」

講師：斉藤善久さん

（神戸大学大学院国際協力研究科准教授／神戸移民ユニオン執行委員長）

■ 10 月 30 日 在日外国人②（教育）「在日外国人教育における排除と包摂」

講師：山本晃輔（関西国際大学社会学部准教授）

■ 10 月 30 日 子ども①（権利）

「子どもの権利条約（子どもの意見表明権と子どもの最善の利益）」

講師：曾我智史（弁護士（日本弁護士会子どもの権利委員会委員））

〈お申込み・お問合せ〉講座に空きがある場合はお申込みいただけます。

右記 QR コードからお申し込みください→



えほんの紹介



『ぎょうれつ りょうれつ』

絵と文：マリサビーナ・ルツ、訳：青木久子、徳間書店、1994 年 11 月、
1,430 円（税込）



積み木で遊ぼうとしていたサムは、おかあさんから「お昼ごはんですよ。サム、いらっしゃい」と言われました。サムは「ちょっと、まって」と答えて、積み木でぎょうれつを作りながら、おかあさんのところまで行くことにしました。

本やお風呂のおもちゃ、靴や車のおもちゃも加わって、ぎょうれつはどんどん進みますが、台所まであと一つのところで並べるものがなくなりました。そこでサムは寝転んで目をつぶり、手を伸ばして、自分をぎょうれつに加えるのでした。

サムが「おかあさんのところまでずーっとぎょうれつしてきたんだよ。みて みて」と言うと、おかあさんは長いぎょうれつをみてから「すごいわね」と言います。そして「でも、よんだらすぐにきてね」と伝えました。サムの発想がとってもかわいいのと、おかあさんの神対応に拍手喝采。日常生活の中のほんのりした幸せを感じる絵本です。



なんとお母さんの寛大なこと！「幸せを感じる絵本」と紹介しましたが、私だったら絶対に「早くして！」と怒るだろうなと思い、自己嫌悪に陥る絵本です（笑）。子どもの「ちょっと待って」に対して、イライラせず辛抱強く待つことは本当に忍耐力が必要です。

2 歳の次女ちゃんは、自分でやりたい真っ盛りで、「これは嫌」「あれがいい」「今、これやってるから、ちょっと待って」と忙しいときに限って、こだわりが爆発します。6 歳の長女ちゃんは、マイペース。間に合っていないのに、のんびりごはんを食べます。そこで私は朝から「早くして！」と怒りまくりで、後悔と自己嫌悪の毎日です。

「子育て」には分からないことが多すぎます。嫌々ばかり言うとき、かんしゃくを起こすとき、どんな風に対応したらいいのかさっぱり分かりません。かといって、役所の子育て相談へ電話するのはハードルが高すぎるとき、絵本から「子育て」のヒントをもらえるのだなと気づきました。絵本は子どものために読むものだと思っていたけれど、読んでる大人の方が気づきもらえるのだなと感じました。

NHK に『ハロー！ちびっこモンスター』という番組があります。保育士のてい先生が育児に奮闘するパパママの悩みを解決するという内容です。まさにあるある！の悩み事は、てい先生のアドバイスですっかり解消されます。先日、嫌々連発の次女ちゃんに対して、「ぬいぐるみを使って声掛けするといい」というのを実践しましたが、びっくりするほど効果的でした！子どもは日々成長しているので、悩み事も日々変化します。母も人間なので、常におおらかでもいられないからこそ、絵本やテレビの番組をみてふと立ち止まる必要があるんだなと思います。「伝え方を工夫しよう」「今日は絶対に怒らない」と小さな目標を決めて、子どもたちと接する毎日です。（ひ）

人権啓発研究第 45 回兵庫県集会

- 日時：2025 年 10 月 25 日（土）10：00～16：00
- 参加方法：①兵庫県立のじぎく会館（定員 300 人）
②オンライン配信（定員 500 人）
※オンライン配信は開会行事及び記念講演、第 1 分科会のみとなります。
- 参加費：4,000 円（討議資料・報告書を含む）※ 弁当代は含まれません。
- 弁当代：1,200 円 ※別途お申し込みが必要です。
- 記念講演：「多民族共生社会に向けて
一聞いて知って乗り越えるマイクロアグレッション」
北原モコットウナシさん
（北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授）
- 分科会：第 1 分科会「部落問題」
第 2 分科会「人権教育」
第 3 分科会「人権啓発」
- 学習会：性暴力、性被害、性犯罪は同じなの？違うの？
- 申込：右記 QR コードを読み込んでお申し込みください。
- 申込締切：2025 年 10 月 20 日（月）
- 主催：人権啓発研究第 45 回兵庫県集会実行委員会
- 後援：兵庫県／兵庫県教育委員会／公益財団法人兵庫県人権啓発協会／
兵庫県人権教育研究協議会
- お問合せ：人権啓発研究第 45 回兵庫県集会実行委員会事務局
（一社）ひょうご部落解放・人権研究所
TEL：078-252-8280 mail：blryhg@extra.ocn.ne.jp



↑ 申込はこちら

事務局から plus

- この夏は、ことのほか暑かった。道行く人は、ことごとく「暑いでんな！」と汗を拭き、「この夏を乗り切りましょう！」と肩をたたきあった。みんなの顔は口角が上がり、なぜか「笑顔」に見えた。（N）
- 米価が話題となっている中 9 月の初めに新米を収穫しました。ただ、今年の猛暑と水不足が新米にどんな影響が出ているのか、心配です。とにかく試食です。（Ho）
- 米国の有力なユダヤ人団体「サイモン・ウィーゼンタール・センター」の副所長いわく、パレスチナを国家承認すると関税合意に悪影響を及ぼす可能性がある。わてほんまによう言わんわー。（ka）
- 先月、東京の学生さんたちと先生がゼミ合宿で神戸を来訪。被差別部落や障害者、トランスジェンダー、在日コリアンなど多様なテーマで街を歩き、話を聴き、学ぶ姿に大きな刺激を受けました。（H）
- もち米の稲刈り体験をしました。鎌で刈り、濡れた藁で縛って稲架に掛けます。干すとうまみが増すそう、手間暇かけて作られるお米に感謝の気持ちを忘れないようにと、最高の食育になりました（ひ）

